

将来の可能性を秘めた「医療秘書・医療事務」を育成！ 専門学校静岡医療秘書学院

静岡県内唯一の日本医師会認定医療秘書(訃事務)養成機関

医療事務科・医療秘書科を設置している教育機関（大学・短大・専門学校）は全国に200校以上あるが、日本医師会認定の医療秘書(事務)養成機関は全国で12校のみであり、本学院はその内の1校として、高い評価を受けている。

元々は静岡県医師会が通信制教育から始めた医療教育機関

- 1968年 静岡県医師会副看護学院として開校（看護師のサポート）
- 1976年 静岡県医師会MS学院と改名（医師のサポート：医療秘書）
- ※上記までは、医療機関従事者のみ入学可で通信制
- 1984年 静岡県医師会医療秘書学院と改名（一般公募始まる。通信制）
- ※医療界の高度化・複雑化・専門化に伴い通信制では限界と判断
- 1991年 学校法人静岡女子商業学園（現：学校法人長嶋学園）が受託
- 1993年 専門学校静岡医療秘書学院（全日2年制、男女共学）開校

学院長は静岡県医師会長、学院運営委員は医師会理事

近年の学院長紹介

- 現在 加陽直実（浜松市）2024年6月～現在に至る
- 前回 紀平幸一（伊豆市）2018年6月～2024年6月
- 前々回 篠原 彰（焼津市）2014年6月～2018年6月

現在の学院運営委員メンバー（学院長以外の静岡県医師会理事のみ列举）

- 齋藤昌一（齋藤医院長：御殿場市） 小野宏志（医療法人社団心理理事長：浜松市）
- 秋山欣丈（秋山医院長：富士市） 鈴木昌八（磐田市立総合病院事業管理者：磐田市）
- 竹内浩視（浜松医科大学：浜松市） 佐藤 洋（富士宮市立病院院長：富士宮市）

国家試験ではないが「日本医師会」認定資格は全国で通用

日本医師会医療秘書認定試験（医師事務作業補助者認定のための基礎研修が免除）
全医秘協医療保険請求事務実技試験

※上記は、日本医師会認定校の12校のみ受験可能（本校は95%以上が合格）

就職希望者決定率100%（静岡県医師会より県内の会員医師に学生紹介）

県内全域の医療機関から求人が来る（例：2024年3月卒業生27名 求人数100以上3倍）
病院にも医療クラーク（医師事務作業補助者候補）として求人増加中（派遣社員ではない）
卒業後の転職もサポート（本校には経験者の求人も有り）

学費は県内トップクラスに安い（優待生入学金免除制度有り）、さらに修学支援新制度認可校